

会議要旨

【開催概要】

会 議 名 称	第2回 上牧町第8期介護保険事業計画策定委員会
開 催 日 時	令和2年10月26日(月) 13:30~15:30
開 催 場 所	2000年会館 2階 多目的室
出 席 委 員 (名簿順表記)	・竹之内委員・渡邊委員・北委員・梶野委員 ・赤松委員・植村委員・吉村委員・柳原委員・中西委員 ・西川委員・芳倉委員・松井委員・山田委員 (計13名)
欠 席 委 員	・林委員・岡本委員・蒲池委員
事 務 局	青山住民福祉部長、中本福祉課長 生き活き対策課：林課長、俵本課長補佐、杉田係長、中川、富永 地域包括支援センター：松原、小松、善家 業務支援：山野主任研究員、阪本課長代理
会 議 次 第	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議事 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について (2) 第7期介護保険事業計画の進捗と評価 (3) 第8期介護保険事業計画素案の検討(施策の体系(案)) (4) その他 4. 閉会
公 開 / 非 公 開	公開
傍 聴 者	2人

【議事要旨】

事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none">・会議成立要件の確認（16名中過半数を超える13名出席のため成立）。 <p>3. 議事（以後、進行は渡邊会長）</p> <p>（1）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について</p> <p>● 調査の目的について</p> <p>本町では、令和3年度を始期とする「上牧町第8期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」の策定を令和2年度に予定しています。現行計画から継続する地域包括ケアシステムのさらなる充実に向けて、介護保険及び老人福祉における現状や高齢者のライフスタイル・ニーズ等、地域の実情や特性等を把握し、第8期計画への検討資料を得ることを目的に調査を実施しました。</p> <p>調査対象について</p> <p>一般高齢者、65歳以上で介護保険の要介護認定を受けていない方、3,599件です。</p> <p>軽度認定者、介護保険の要支援1～2の認定を受けている方、要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者、247件です。</p> <p>調査機関について</p> <p>令和2年7月17日から令和2年7月31日にかけて調査しました。</p> <p>調査方法について</p> <p>調査方法は郵送により対象者へ配布し、郵送にて回収しました。回収状況ですが、全体の配布数6,272件、有効回収数3,846件、回収率61.3%となっております。</p> <p>内訳ですが、配布数 一般高齢者5,877件、軽度認定者395件 有効回収率 一般高齢者3,599件、軽度認定者247件 回収率 一般高齢者61.2%、軽度認定者62.5% となっております。</p> <p>続きまして、調査結果につきまして速報ではありますが報告いたします。 資料1をもとに説明</p>
委員	○ 一般高齢者というのは、要支援者が増えていないと言うだけで、その他も

	<p>ろもろ判断能力等はわからないということなのか</p>
事務局	<p>○ 今のご質問なのですが、認定を受けていないというだけで、認知などの部分はどうなっているかということによろしいでしょうか。一般高齢者という捉え方は、認定を受けておられないということで数値を出ささせていただいておりますので、そのとおりでございます。</p>
委員	<p>● 一般高齢者と軽度認定者で平均年齢に開きがあるのかを把握されているのか、把握されていないのか教えていただけますか。</p>
事務局	<p>○ 今のご質問なのですが、正確なデータではないのですが、私たちの感覚という部分では、一般的に軽度認定者の方が一般高齢者と比べると平均年齢は高い傾向になるかと思えます。</p>
委員	<p>● 調査結果速報ということなのですが、全ての項目を現段階で網羅しているということではないでしょうか。</p>
事務局	<p>○ その通りでございます。</p>
委員	<p>● 軽度認定者と一般高齢者にアンケート人数開きがあり調査対象の人員、人数、回収率も違うが対象比較してもわからないのではいか。</p>
事務局	<p>○ 今のご質問なのですが、調査対象者の比較母数が違うので要支援1、2の人数は少なくなっている。一般高齢者の認定を受けていない方は母数が大きくなっています。介護保険事業計画において現状を知ることこそしながら、これを元にして、地域支援事業、介護予防事業を実施していますので、対象者の方へのアプローチをする意味においてもアンケートを実施しております。例えば、247名、一般高齢者は300名ぐらいになるかもしれないので、任意抽出をすればよかったのかもしれませんが、データをすぐに活かそうという気持ちがあり全数調査をしたので、人数に開きがあるかもしれません。</p>
委員	<p>● 資料に900人ぐらい3年分と書いてあったと思うのですが、軽度認定者247名でしたらかなり少ないような気がすると思うのですが、そのあたりはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>○ そのデータ900名というのは介護認定を受けている人数だと思います。介護認定は7段階あり、その内の軽度者だけになるので、人数は少なくなると思います。</p>

委員	● 31、32ページの件ですが、活動に参加しないよりは参加する方が多いのは良いことではあると思いますが、もう少し具体的内容を教えていただけないか。
事務局	○ こちらの質問に関しましては、このような参加したいかどうかを○をつけていただく形になってまして、こちらの質問の具体的な意味までは読み取れないです。
委員	● 資料では65歳以上であるが、65歳ではまだまだ元気な方が多いので、75歳以上のデータでまとめてみてもいいのではないか。
事務局	○ 75歳以上というデータでは出していないが、データあるので参考にさせていただきます。次回の策定委員会でクロス集計したものをご提示させていただきます。
委員	● お孫さんで介護や高齢者の介護に関わっている年齢は何歳ぐらいであるか
事務局	○ 地域包括支援センターで相談を受けている中では、お孫さんがなんらかの介護や高齢者の介護に関わっている年齢は20歳以上が多い。10歳代は聞いたことがないです。
委員	● 相談を受けている部署が地域包括支援センターだと理解されていますでしょうか。
	○ 今のご質問に関しまして、町内の高齢者の窓口、相談は地域包括だということは周知させていただいております。例えば、民生委員さんから高齢者の相談窓口は地域包括だということは理解していただいていると思います。
委員	● 地域包括に上がってくる相談が高齢者を中心になっているから、お孫さんが、介護を必要とする相談が未成年であるかどうかという質問がこないのではないかと思います。
委員	● 42ページが一番多いものが介護してくれる家族に負担がかかる、3番目に経済的な負担が多い、軽度認定者も一般高齢者と同じであるが、経済的問題が大きいのではないか。
事務局	○ ご指摘のとおり施設に入ろうと思うと、施設の種類により費用額が全然違います。グループホームなどは高額になると思います。費用面の問題もある

事務局	<p>と思うのですが、地域で安心して生活していけるような方策に一番力を入れていかないといけないと考えております。</p> <p>(2) 第7期介護保険事業計画の進捗と評価</p> <p>● 資料2をもとに説明。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域支援事業の推進 2. 介護予防・日常生活支援総合事業 3. 認知症施策の推進 4. 介護家族への支援 5. 見守る体制づくり 6. 地域包括ケアシステムを支える人材の確保・資質向上 7. 在宅医療・介護連携の推進 8. 権利擁護への取り組み 9. 介護給付の適正化
委員	<p>○ 評価シートについて第7期介護保険事業計画、全ての施策、事業の評価についてできていないのではないかと。抜けているところがあるのではないかと。それはなぜか。事業評価というのは、計画を立ててどこまで進んでいるとかではないか。なぜ抜けている理由があるのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>● ご質問について、7期の評価について全て載ってないということなのですが、強い意図というのはないのですが、特に重要と思われる部分については、ここに明記をさせていただきました。重要な部分を抜粋させていただいた形になります。</p>
委員	<p>○ 書かれている事業評価「1, 2, 3」とあるが、抜けているところが「4, 5」とかできていないのではないかと不信感をもたれることはないでしょうか。「重要な部分はこう書きました。重要ではない部分は簡単にこう書きました。」などお示しいただければよいのではないかと。</p>
事務局	<p>● 12月に第3回策定委員会の開催を考えておりますので、足りなかった部分をお示しできるように努力致します。</p>
委員	<p>○ 5ページの配食見守りと緊急通報見守り事業の成果、件数を教えていただきたいのと、7ページの住宅改修の平均どのくらいかかるのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>● 配食事業者さんが配食の時に家におられなくて包括支援センターに連絡が</p>

	<p>くる事案は1年間に1～2件あります。緊急通報見守り装置え緊急ボタンを押して救急搬送になるケースは年間20件程度あります。また、それ以外でも相談ボタンというものがありまして、救急搬送まではいかなくても相談したいと思えば相談ボタンも押してコールセンターに繋がる仕組みになっております。相談ボタンも数までは把握していないのですが、頻回に利用されているように思いますし、安心してご利用いただいているかと思えます。介護認定を受けるとお一人20万円を上限に手すりの取り付け、段階解消等の工事に利用できます。上限額を超える分については自己負担になります。住宅改修平均額については、改修場所、改修内容により異なるためわからないのですが、だいたい上限額に近い工事が多いと思われまます。</p>
委員	<p>○ 7ページ縦覧点検で計画で1カ月に1回で、実績で12回で、評価が「2」ということなのですが、やっているのに「2」という意味がわからないのですが、今後は回数を増やしたいという意味での2ということなのでしょうか。</p>
事務局	<p>● 1カ月に1回国民健康保険団体連合会からくるデータをもとに、チェックをかけているのですが、実際のところ紙ベースでみているだけでわからないので、その方のプランであったり内容を専門職などでもっと確認する必要があると思いき不十分な点もあるため「2」にしました。</p>
委員	<p>○ 6ページの退院調整ルールづくりについて、どの病院をさしているのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>● 対象病院の方は、6病院になります。ハートランドしぎさん、西和医療センター、恵王病院、服部記念病院、奈良友誼会病院、西大和リハビリテーション病院が対象です。</p>
委員	<p>○ どのようなルールづくりをされているのか。</p>
事務局	<p>● 例えば、在宅の方が入院された時にその方の情報が病院側にはないので、ケアマネジャーさんが病院に情報提供するための書式の統一をしました。また、退院時においても、スムーズに関係者、病院、ケアマネジャーが連携をとれる体制づくりをするためにマニュアルを作成しました。</p>
委員	<p>○ 身寄りのない人など西和7町で広域で作っている三室園について入所させるなど制限なく使えるのか。</p> <p>● 三室園について特別養護老人ホームと養護老人ホーム2つあります。今お</p>

事務局	<p>話しいただいているのは、養護老人ホームになると思うのですが、措置の時代からあり介護保険施設の整備も進んでおりますので、措置の方は、今現在少なくなってきているので、措置の施設を増やすなどは考えておりません。成年後見制度の利用でカバーできるのではないかと考えております。</p>
事務局	<p>(3) 第8期介護保険事業計画素案の検討（施策の体系（案））</p> <p>● 上牧町第8期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画施策の体系をもとに説明。</p> <p>○ 相談窓口におけるプライバシーの問題についてどうお考えでしょうか。</p>
委員	<p>● 認知症相談であれば相談室2つから1つに減ったが、プライバシーに関わることなので、別室で個々に相談に対応させていただいている状況です。空き部屋等も有効利用を考えていきます。</p>
事務局	<p>○ これから高齢化がどんどん進むと思いますが、地域の方の見守りを強化していただけたらと思います</p> <p>4. 閉会</p> <p>● これをもちまして第2回上牧町介護保険事業計画策定委員会を終了させていただきます。</p>